|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **議事録** | | 作成日：2013年10月1日 | |
| 作成者：石橋太樹 | |
| **議題**：第1回プレゼン内容 | **実施日**： 2013年9月24日 | | **場所**： 本館504号室 |
| **発表者**：リーダー　吉田優徳（プレゼンター）　サブリーダー　鈴木健太（オペレーター）  メンバー　石橋太樹　奈須健太　山本樹（病欠） | | | |
| **参加者**：3G1、及川、石井 | | | |
| **発表内容**  会社概要やその会社の問題点などの背景から入り、その問題点の解消となるシステムの紹介、提案に移り、実際にシステムを入れてどのようなメリットがあるのかを説明し、システムに対するコンセプトを伝え締めくくりました。 | | | |
| **質疑応答の内容**  Q今までもメールやプリントなどで情報を伝えていたと思うのですが、それよりも効率的なのか、又、それ以外の機能があるか（石井）  Aメールやプリントですと、相手のスケジュール状況が読めません。こちらの機能ですと相手のスケジュールに合わせイベントに参加する可能性のある人に的確に情報伝達ができます。  Q使うのはクライアントだと思うのですが、ユーザー側と管理部門に機能が分かれているのか（小野沢）  Aユーザー管理とイベント管理と一般の三段階に分かれています。イベント管理者などは、ユーザー管理などから権利を受け渡します。  Q定着率とはなにか（田中）  A社員が思い入れを持ち、その会社を辞めずに居てくれる事を言います。 | | | |
| **講評の内容**  きちんと前を向いており、声も大きく、後ろの席にいてもよく聞こえていた。スライドだけでは伝わりきれない内容を補足説明しており、わかりやすかった。コンセプトとなるキーワードを旗的に表現しており、最後の締め方がよかった。  しかし、詰まると資料に目を落とすことが多く、「えっと」も目立ち、練習不足を感じた。又、「ユーザー検索機能」が本システムのウリになるはずなのに、資料や説明があっさりしすぎて魅力が十分に伝わってこなかった。 | | | |
| **個人別に良かった点・悪かった点**  吉田祐徳：　リハーサルの時より、震えが少なかったと思います。ですが、「あの・・・」「えっと・・・」  　　　　　などが多かったのが痛い所です。  鈴木健太：　病欠などの理由から、当日に打ち合わせをしたのでプレゼンターとの意思疎通がうまくできず、オペレーターとしての役割をうまくはたせなかった。次回のプレゼンには事前に打ち合わせをしっかりとし頑張りたい。  石橋太樹：　何をしていいのかわからず、言われるまで作業の手伝いをしなかったので、次は自主的に動きたいと思った。又、遅刻回数が多く、プレゼンの時間にいなかった時も多かったので、遅刻改善も目指したい。  奈須健太：　第一回プレゼンを終えて良かった点は、少しでもグループの力になれたことです。また、悪かった点は、照明の仕事の時に、電気を灯けることや消すことの内容を誤ったことです。今後は無いようにしていきたいです。第二回プレゼンも頑張っていきたいです。  山本　樹：　メンバーには大変申し訳ないことをしました。体調管理も1メンバーの仕事として意識し、今後はこのようなことがないよう努めていきたいと思います。 | | | |
| **次回に向けた改善事項**  プレゼンテーションの手直し、資料の追加  又、プレゼンターの発表練習による練習不足の改善 | | | |